

梅ヶ島 山の声



～ 梅ヶ島出張所通信 ～

コノハスっくん

「大ザレ溪流保全工事」の安全を祈願～9月10日(火)～

「大ザレ溪流保全工事」の現場にて、本格的な工事着手を前に、土地の神様や工事の守護神をお祀りし、敷地の穢れを清め祓って、工事の順調な進捗と安全を祈願する祭儀を執り行いました。

本工事は、昨年度の災害復旧工事で出水により施工出来なかった箇所も施工するなど、難工事が想定されており、身が引き締まる思いがしました。また、本祭儀には工事関係者の他、梅ヶ島学区自治会連合会長様も出席され、本地域の安全度向上に対する期待の大きさを痛感しました。



施工者(日鋪建設(株))による「清め祓」

梅ヶ島生コン工場の「戻りコン」説明会に参加しました～9月18日(水)～

大東コンクリートヒダ興業(株)梅ヶ島生コン工場にて、使われなかった生コンの有効活用説明会があり、梅ヶ島出張所関係者とともに参加しました。「戻りコン、残コン」は、生コン出荷量の約3%といわれ、その多くは産業廃棄物として処理され、国土交通省としても改善が望まれているところです。



特殊薬剤投入、アジテータ攪拌後の状況

今回の新技術は、特殊薬剤(吸水剤、急結剤)を戻りコンへ投入し、アジテータで高速攪拌して「IWA骨材」を製造します。1週間程度養生後、「IWA骨材」を粗骨材として通常の生コンと同様に練り混ぜ、生コン製品「バックフィル材(BF材)」を製造します。使用実績としては、捨コン、型枠基礎、土間コン等があるそうです。



再生された「IWA骨材」

この「BF材」は、一般のコンクリートと同等なフレッシュ性状、圧縮強度を有することから、産業廃棄物化を抑制するなどの環境配慮の観点からも基準の整備と技術の普及が望まれていると感じました。

「OSJ工法」工事見学会を開催しました～9月20日(金)～

本通信第2号の「工事だより」で紹介しましたが、「ウラの沢流路工工事」の家屋に近接した箇所において、従来の鋼矢板工法に代わり、家屋に振動や騒音による影響がない「OSJ工法」を用いた流路工を施工しました。なかなか経験できない特殊な工法なので、職員や地域の施工技術者約20名の参加で工事見学会を開催しました。

前半は、出張所において「OSJ工法」の推進原理や施工手順などを手作り模型を用いて説明し、後半は、現場にて「OSJ工法」の施工状況を見学しました。参加者からは、実際の推進状況を確認でき貴重な経験で良く理解できたと感想を頂きました。



①手作り模型で推進原理を説明



②OSJ機後方部の設置水路と埋戻し状況



③OSJ機前方部のBH掘削と掘進状況



④OSJ工法による施工状況全景

「工事だより」平成25年度 安倍川水系大谷山腹法面工事

【施工者:(株)新村組、現場代理人:志村 秀範、工期:平成25年4月27日～平成25年12月13日】

こんにちは、大谷山腹法面工事の現場代理人の志村です。「大谷崩」を少しでも食い止めるために、標高約1,700mの急斜面で対策工事を行っています。9月30日現在の進捗率は82%と、順調に進んでおります。これから日増しに寒さが厳しくなり、山頂部では雪が降る季節になりますが、安全を第一に工事を完成させます。

～ 実は、「大谷崩」は海の底だった ～

安倍川源流の一つ、大谷川の最上流「大谷嶺」、ここは太古の昔、海の底だったそうです。その証拠に、海の底にいた生物の「はいあと」、「くいあるきあと」、「住居あと」などの生痕化石が見つかります、皆さんも探せば見つかるかもしれませんよ。10月26日(土)には、今年2回目の「旬な現場」として、作業模擬体験、モノレール試乗、化石探しなどのイベントを行いますので、秋の紅葉深まる中、是非ご家族で参加下さい。

～ 会社の慰安旅行で ～

ちょっと前ですが、7月12～14日と2泊3日で、岩手～宮城県へと会社の慰安旅行に行ってきました。どうせ旅行に行くなら、震災の復興に、少しでも貢献出来ればという思いと、「土木人」として自分の目で見ておきたいとの思いで、三陸沿岸を見てきました。

陸前高田市に入り、何もかもなくなってしまった状態を見て、絶句してしまいました。大津波の恐ろしさ、また、自然災害のものすごさを痛感しました。私も、砂防事業に携わり、自然災害に立ち向かっている一人ですが、改めて気持ちの引き締まる思いでした。

大津波で、無念にも命を落とされた、たくさんの方のご冥福と、残された皆様の復興を、心からお祈り申し上げます。

～ 保育園児から老人会まで ～

9月29日(日)、恒例の「梅ヶ島大運動会」が行われました、去年は台風におしりを叩かれながらでしたが、今年は、最高の秋晴れに恵まれ、盛大に出来ました。この運動会の特徴は、保育園の3歳児から、老人会のお年寄りまで、地区総出で行われることです。体育大会ではなく、体育祭”お祭り”ですね。朝は、生バンドの行進曲で始まり、一日中、老いも若きも一緒になって、競技に、応援に、楽しむ事が出来ました。

今年も、静岡大学の先生や生徒が、30名ほど参加して頂き、大変賑やかになりました。



急斜面での作業状況



大谷崩で見つけた生痕化石



陸前高田市の「奇跡の一本松」



水没した仙台空港
(H23.3.12出張所長撮影)



梅ヶ島大運動会の様子



編集後記



大谷崩への道中で「ねじれた枝」発見

上記でも紹介したとおり、10月26日(土)に今年2回目の「旬な現場」として、「大谷崩」の体験型現場見学会を開催します。紅葉を見ながらのモノレール試乗、工事模擬体験、化石探し、植樹体験などイベント盛りだくさんです。また、先日大谷崩へ向かう途中で「大谷の珍百景」とも言うべき「ねじれた枝」を発見しました。皆様も奇木や化石を発見しに是非お出かけ下さい。

「旬な現場」の詳細は事務所ホームページをご覧ください。



紅葉の「大谷崩」



引き続き、皆様からの情報やご意見を募集しますので以下までお願い致します。

Tel:054-269-2003、E-mail:http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyou/02_office/toiawase.html